

Broaden your horizons ⑤⑥ ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

先日、「第7回次世代の薬剤師を創る会」をメディセレ大阪校で実施いたしました。「漢方のちょっと小粋な服薬指導」では、「モダンカンポウ」のお話が出てきました。私の兄は大阪市内でクリニックを開業していますが、モダンカンポウを処方しています。医師会では漢方に対する理解が低いようですが、メカニズムに合わせて西洋薬を、症状に合わせて漢方薬を、というモダンカンポウは、今後、薬剤師の活躍の機会を増やしてくれるのではないのでしょうか。

次に、「小児救急と薬剤師業務」では、母親が子供を見て救急だと思ったときから小児救急が始まり、センターでトリアージによる緊急度に応じた診療・治療を実施することの大変さを垣間見ることができました。一番多いタバコの誤飲は、水に溶けたニコチンが一番有害なので、水を入れた灰皿にタバコを捨てること、誤飲したときに水や牛乳を飲ませることは危険で、吸い終わったものは美味しくいただける(?)など、ディスカッションが盛り上がりました。

そして、「病棟薬剤業務実施加算とこれからの薬剤師に期待されること」では、日本病院薬剤師会の悲願であり、ようやく2012年度診療報酬改定で実った病棟薬剤業務について、現場から“ぶっちゃけ現状報告”をしていただきました。実際どれぐらいの収益になるのか、加算申請に対する問題点など衝撃的な発表でした。

最後の発表は、「インシデント対策 ~慣れてから起こる間違いの原因~」でした。人間は、文字数と言葉の最初の文字、最後の文字が合っていればその言葉を読めてしまう。人間の脳は天然の手抜きの手才であり、同じことを繰り返すとショートカットを勝手にしてしまう。このような、「慣れ」への警告でした。

そして、医療経済学の重鎮、西村周三先生から「薬剤師と医療経済」をテーマに講演していただきました。薬剤師という資格は「業務独占」資格であって、「……をやってはいけない」という資格ではないと激励されました。薬剤師の今後の可能性とがんばる薬剤師仲間の姿を見て、心の奥の情熱に火を灯した方が一人でも増えれば大成功です。

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子